

今知りたい!

学級経営 Q&A

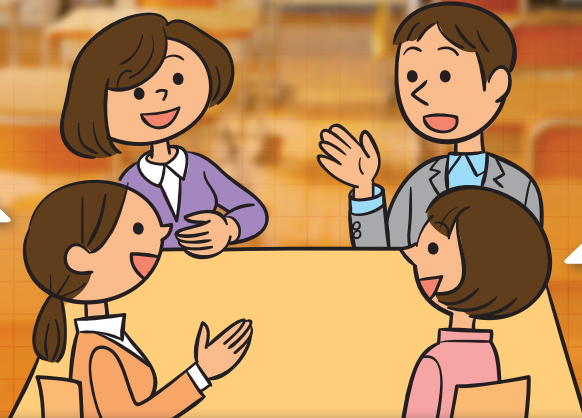
「学級を経営する」という、
課題意識が大切です。

学年末の担任の思いを
実現する方策は？

私は、年度末までに、子ども一人ひとりが「自分こんなに成長したんだ」と思えるようにしたいし、学級として一緒に頑張ってきたことを「やったね!」と言い合える関係にして、学級を閉じたいと思っています。

子どもたちには、「この1年間の学級生活は楽しかった!」という気持ちで年度末を迎えてほしいです。そうすることが、新年度の生活への意欲にもつながると思います。

私のクラスには集団になじみきっていない子どももいます。でもその子の周りの子どもたちは、何とか楽しい思いになってほしいと願っています。年度末は学級事務で忙しいけれど、子どもたちに何か働きかけようと思います。



教育経営アドバイザー

創価大学教職大学院

准教授 **渡辺秀貴**

担任として、また管理職として、クリエイティブに学級づくりや学校づくりに取り組んできました。また、教育委員会での学校教育を支える行政職も経験しています。豊富な教育経営の知識と経験を生かして学級経営の悩みにリアルにお答えします!



B5判 / 120P / 定価：1,500円+税
著：渡辺秀貴

Amazonカスタマーレビュー

12か月ではなく13か月というところに、これは分かってる!!と思い、手に取りました。読みやすく、具体的で分かりやすい!とかく、意味を考えずそういうものかなと流してしまっていることが、[NG]コーナーに書かれていてドキッとさせられます。それもなぜNGなのか、論理的、分析的に書かれていて、納得させられて悔しい。

